

いなりやまぎおんまつり  
「稲荷山祇園祭」

- 指 定 千曲市指定無形民俗文化財 平成 24 年 6 月 6 日指定
- 所 在 地 千曲市稲荷山地区 メイン通りにて
- 運 営 <sup>はるた</sup> 治田神社神輿管理運営委員会
- 公 開 毎年 7 月中旬の 3 日間にわたって開催

稲荷山は明治時代「北信濃の商都」として繁栄し、祇園祭も豪華さと賑わいで評判となりました。現在は 7 月の中旬に 3 日間「天王下ろし」から「天王上げ」までの祭りが盛大に催されます。稲荷山の五町（治田町・上八日町・本八日町・中町・荒町）が順番に、当番町としてお祭りを取り仕切ります。

祇園祭第 1 日目は、当番町全戸が参加して神輿渡御の道筋を清め、神輿をお仮屋に遷座し、道筋に四神をお祀りします。夕刻には「神輿お魂入れ」の神事が執り行われます。

翌第 2 日目が「宵祭り」で、夜店が出るなど前夜祭を盛り上げます。

第 3 日目が「本祭り」で、午前中の神輿渡御神事に引き続いて勇獅子が舞ったり、山車や稚児行列のお練りがあります。正午から神輿巡行となり、勇獅子と共に全町内を練り歩きます。当番町の巡行の最後にお仮屋に練り込んで「天王上げ」となり、元町道祖神前で「お魂抜き」が済むと治田神社の神楽庫に納め、祇園祭は終了します。



町内神輿巡行